

平成29年(2017年)10月20日

保護者様

豊中市教育委員会事務局

「大阪府」にJアラート等によるミサイル発射情報が発信された場合の対応について

平素は本市教育行政にご理解、ご協力をいただきありがとうございます。

さて、標記の件につきまして、大阪府にJアラート等を通じて緊急情報が発信された場合、下記のとおり対応いただきますようお願いいたします。児童生徒の安全確保に向け、ご理解、ご協力いただきますようお願いいたします。

記

1. 登校前に、Jアラート等によるミサイル発射情報が大阪府に発信された場合は、児童生徒は自宅待機とします。
その後「ミサイルが日本の領海外の海域に落下したとの情報」や「日本上空を通過したとの情報」が発信された場合、自宅待機を解除します。
※自宅待機解除の場合においても、安全確認の上、登校させてください。
2. 登校後に、Jアラート等によるミサイル発射情報が大阪府に発信された場合は、屋外にいる児童生徒を教室等校舎内に避難させ、教室等では、身を低くして、窓ガラスから離れ、机の下に隠れる等の頭を守る行動をとるよう指示する等、安全確保に努めます。
その後、安全を確認し、教育活動の再開を判断します。
3. 登下校中に、Jアラート等によるミサイル発射情報が大阪府に発信された場合は、屋外で緊急情報を聞いたときは、「建物の中、又は地下に避難する」「近くに適当な建物がない場合は、物陰に身を隠すか地面に伏せ、頭を守る行動をとる」よう指導します。
※ご家庭でもご指導をお願いします。
4. 緊急事態の発生のおそれのある場合は、本市の危機管理対策本部が設置され、必要に応じて臨時休業等の措置を決定します。

◆文部科学省の通知文より

1. Jアラートを活用した緊急情報が発信された場合の行動例

- ミサイルが日本に落下する可能性がある場合は、Jアラートを通じて、防災行政無線等で特別なサイレン音とともにメッセージが流れるほか、緊急速報メール等によって緊急情報が発信されるので、メッセージが流れたら、落ち着いて直ちに次の行動をとることが求められる。

【屋外にいる場合の行動例】

- ・近くのできるだけ頑丈な建物や地下などに避難する。
- ・近くに適当な建物がない場合は、物陰に身を隠すか地面に伏せ、頭部を守る。

【屋内にいる場合の行動例】

- ・できるだけ窓から離れ、できれば窓のない部屋へ移動する。

【自動車の車内にいる場合の行動例】

- ・車は燃料のガソリンなどに引火する恐れがあるため、車を止めて頑丈な建物や地下街などに避難する。周囲に避難できる頑丈な建物や地下街などがない場合、車から離れて地面に伏せ、頭部を守る。

2. ミサイルが着弾した場合の行動例

- ミサイルが着弾した場合に取るべき行動の例は以下の通り。
 - ・近くにミサイルが着弾した場合は、屋外にいる場合は、口と鼻をハンカチで覆いながら、現場から直ちに離れ密閉性の高い屋内の部屋または風上に避難する。屋内にいる場合は、換気扇を止め、窓を閉め、目張りをして室内を密閉する。
 - ・弾頭の種類に応じて被害の様相や対応が大きく異なるため、テレビ・ラジオ・インターネット等を通して、情報収集に努めるとともに、行政からの指示があればそれに従って、落ち着いて行動する。

※Jアラートによる伝言メッセージのうち、「頑丈な建物や地下」という表現が「建物の中、又は地下」に変更されております。詳細につきましては、下記ポータルサイトをご参照ください。

○国民保護ポータルサイト <http://www.kokuminhogo.go.jp>